

移心電心

～顔を見たらtel' eるから～

コンセプト

私たちは、高校という集団生活の中で生活しています。その中で友人や恋人に対しどのようにコミュニケーションをしているのかを考えたとき、一番身近に感じられたのが携帯電話でした。そこで、携帯電話でコミュニケーションをとる事が高校生にとって適しているのかまた、高校生に適したコミュニケーションツールとはどういうものなのかをもう一度考えなおしてみることにしました。

＜そこで高校生を対象に携帯電話に関するアンケートをとりました。＞

アンケート結果

携帯電話の所持率

持っていない 47.3%
持っている 52.7%

アンケートの結果、高校生の携帯電話の所持率は約53%を占めました。また「持っていない」と答えた人の中にも「欲しい」と答えた人は約55%いました。このように高校生にとって携帯電話が身近なものになってきていることがわかります。また、高校生の携帯電話について調べたところ、一番多く使われている機能はメールでした。

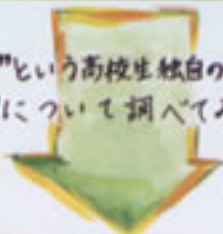
ケイタイちゃん



ケイタイ君



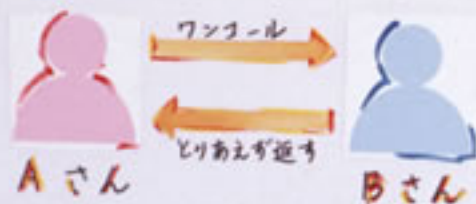
アンケートをとったところ、"ワンコール"という高校生独自の使い方があることがわかりました。
そこで"ワンコール"について調べてみることにしました。



Q. では"ワンコール"とは?
A. 相手に1回だけコールを鳴らすこと。
ではその意味は?



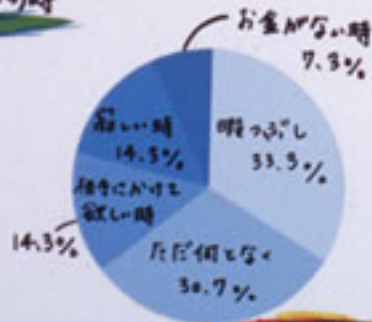
例1)



突然AさんからBさんにワンコールがきました。そこでBさんはとりあえずAさんにワンコールを返しました。しかしBさんはAさんからのワンコールの意味がわかりませんでした。この時、Aさんからのワンコールの意味は何だったのでしょうか?
この疑問に対し、アンケートをとった所、次のような結果がでました!!



どういふ時



- 思いをこめてワンコール
- いたずら
- たばこ吸う時
- ひま
- ワンコールで起こしてあげる
- はらが立ったから
- 連絡をとりたいから
- 気がついてほしいから
- あいさつ代わりに
- 相手がかけられるか探る

ちょっと待って

みんなにたくさんの方のワンゴールの意味がわかるのにみんなちゃんと理解できているのでしょうか？
そこで、お速便なりに分析してみた結果、ワンゴールには大きく3つの種類に分けられる事がわかりました。

合図のワンゴール

- ・ただいまの合図
- ・連絡下さいの合図

軽い気持ちのワンゴール

- ・ただ何となく
- ・暇だから

重い気持ちのワンゴール

- ・気づいてほしい時
- ・寂しい時



このような結果をふまえてワンゴールのいい点と悪い点をあげてみました。

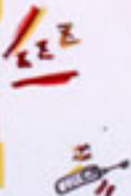
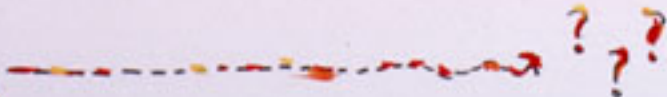
いい点

- ・気軽に利用できる
- ・料金がわからない
- ・気持ちの探り合いが楽しい
- ・深入りしない関係が保てる

悪い点

- ・曖昧すぎて相手の気持ちが伝わりにくい
- ・で気持ちのいき違いが生じる場合がある

まとめて考えてみると、ワンゴールは自分の気持ちを説明しすぎず、相手の反応を探るところがいいのですが、あまりに曖昧すぎて、相手の気持ちをも勝手に自己完結させてしまうところがあります。



そこで...

ワンコールの手軽さを残しつつ、**自己完結**しないように相手の最小限の気持ちかわかるものがあればいいと思い、次のような**提案**をしてみました。

ワンコールに色や音の変化をつけて**最小限の気持ち**を伝えられるようにする。

例2)



Aさん

操作画面

ワンコール



Bさん

さて、この時Aさんはどのような気持ちでワンコールをしたのでしょうか？

例1の時のワンコールよりも少しだけAさんの気持ちが分かるような気がしませんか？

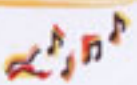


ワンコール設定を選択



画面の色と着信音はあらかじめ自分で設定できる

着信音を選択



明るめの色が表示され
楽しいイメーজの着信音が鳴る

Aさんのワンコール着信

“ワンコール”というものは、私達高校生が独自に作りだしたコミュニケーションのとり方の一つです。大人から見ると、おこづ曖昧で意味のないようなことと思えて理解できない部分があるかもしれませんが、しかし私達高校生にとってはすごく大切なコミュニケーションなのです。

これまでのワンコールは一方通行で自己中心的なところがありました。私達が提案するワンコールの**演出システム**によって、これまでのワンコールの曖昧さに加えて、ちょっとした心配りなどができるようにすることで、気持ちのうれしや悲しや怒りが減るのではないのでしょうか。携帯やワンコールでのコミュニケーションのとり方が求めているペースだとは思いませんが、自己中心的な考えが軽減することで、本当に困っている人を助けてあげられることにもできるようになるかもしれません。携帯を通して、コミュニケーションのあり方や人への思いやり方も勇気をもって**21世紀に向けてのコミュニケーションの道**が開けていくのではないのでしょうか。